

# 日本初のDME製造プラント稼働

## 三菱ガス化学など9社

## 新燃料ジメチルエーテルに高まる関心と期待



完成した燃料DME製造プラント(写真上)。新潟市内のホテルで開かれた完成祝賀会(写真下)には多数の関係者が出席、門出を祝った。「自動車燃料に使わないのはもったいない」と言われるDMEへの期待が高まる



企画・解説

新潟市北区松浜町の三菱ガス化学新潟工場内に建設を進めてきた日本初の燃料DME(ジメチルエーテル)製造プラントが完成し、稼働を始める。9月3日には関係者を集め、プラントの見学会とともに市内のホテルで祝賀会が行われた。原油供給の不安定さから新燃料に寄せる関心と期待は高い。

### 年産8万トン規模

DME製造プラントは、三ガス、あるいはバイオガスな菱ガス化学、伊藤忠商事、石などを原料に合成する。LNG油資源開発など民間9社が出資して昨年設立した「燃料DME製造」が建設してきた。プラントは、メタノールを原料に脱水法によりDMEを製造するもので、生産規模は年産8万トン(最大10万トンの製造可能)。委託を受けた三菱化学が運営する。

## 自動車、発電用に有望

### 排ガス対策に取り組みやすく

国内相場、さらには投機マネーがからまる複雑な状況下で、国内電炉最大手の東京製鐵が安値誘導したことが下落の最大の要因と指摘した。これまでもストップしていた韓国向けの輸出が、少量ではあるが再開された。

## 新興国中心に強い引き合い

期間に2万円を超えるような大幅な値下がりを経験したのは今回が初めてとなる。国際相場と12月の水準で一段落した。



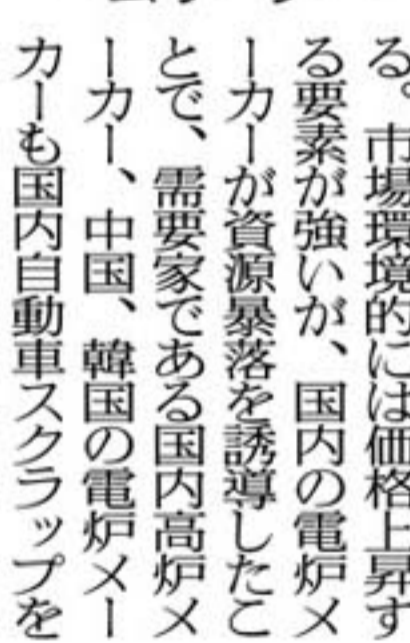
環境課長 福島県自動車リサイクル協会の代表者



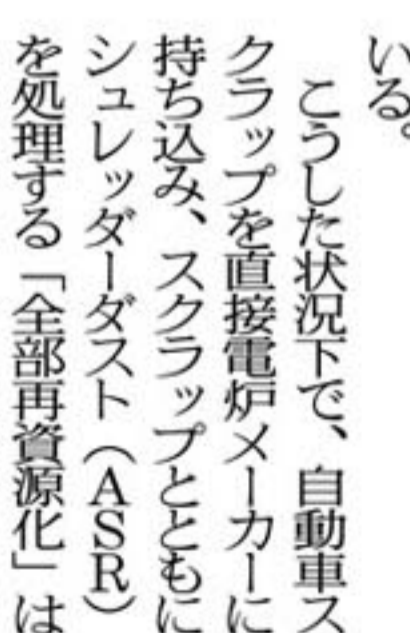
通商部次長 山田道子



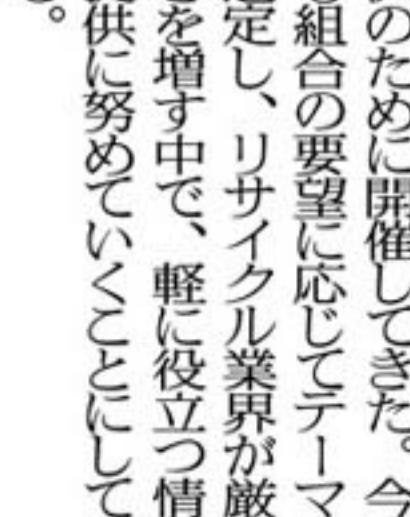
三菱商事の代表者



三菱商事の代表者



三菱商事の代表者



三菱商事の代表者



福島自動車リサイクル協会(渡辺孝雄理事長)は4日、郡山市内のコンベンション施設「ビックパレット」で自動車リサイクルマーケティング勉強会を開いた。来年から始まる自動車リサイクル法の許可更新と全部再資源化への取り組みについて勉強会のテーマに取り上げた。

福島自動車リサイクル協会(渡辺孝雄理事長)は4日、郡山市内のコンベンション施設「ビックパレット」で自動車リサイクルマーケティング勉強会を開いた。来年から始まる自動車リサイクル法の許可更新と全部再資源化への取り組みについて勉強会のテーマに取り上げた。

## エコ的観察

「記者の目」 自動車燃料としてDME(液化石油)ガスと似たような性質を持ち発電や自動車用の燃料としても有望と言われているDMEの特徴を、ディーゼル燃料と比べてみてみる。ディーゼル燃料は、排ガス対策で必要なら、排ガス削減のためにディーゼル燃料の燃焼効率を上げる必要がある。DMEは、ディーゼル燃料よりも燃焼効率がよく、排ガスの削減に役立つ。ディーゼル燃料は、排ガス削減のためにディーゼル燃料の燃焼効率を上げる必要がある。DMEは、ディーゼル燃料よりも燃焼効率がよく、排ガスの削減に役立つ。

「現在の状況」 自動車燃料としてDME(液化石油)ガスと似たような性質を持ち発電や自動車用の燃料としても有望と言われているDMEの特徴を、ディーゼル燃料と比べてみてみる。ディーゼル燃料は、排ガス対策で必要なら、排ガス削減のためにディーゼル燃料の燃焼効率を上げる必要がある。DMEは、ディーゼル燃料よりも燃焼効率がよく、排ガスの削減に役立つ。

### 現在実験レベルのトラック、バス

ただし、現在あるDME自動車は実験レベルのトラック、バスにとどまっている。DME自動車の普及が進めば、年産8万トンの生産規模で不足するが、現時点では自動車用として燃料DMEの供給先は極わずか、大口の需要を探すとすると、発電用などに限られる。

「今後の見通し」 今後の需要の見通しに、新興国を中心に依然としてスクラップ財に対する需要が高い。中国なども引き合いが強い。また、鉄鉱石の高騰やCO<sub>2</sub>排出削減のために高炉(転炉)メーカーも自動車スクラップを原料として利用拡大する動きがある。

「今後の見通し」 今後の需要の見通しに、新興国を中心に依然としてスクラップ財に対する需要が高い。中国なども引き合いが強い。また、鉄鉱石の高騰やCO<sub>2</sub>排出削減のために高炉(転炉)メーカーも自動車スクラップを原料として利用拡大する動きがある。